

15年戦争(昭和6〜20)年表

『堺市史続編第六巻』から

年代	堺の出来事	日本と世界
昭和6 一九三一	1 東陶器村福田の小人児童九名同盟休校／堺ガス値下期同盟会結成 2 南隣保館開設 2 3 浅香鉄器製造所争議 3 市史編纂部廃止 4 美木多村・八田莊村 六年度予算で吏員減補 5 教員減員実施 3 1 9 大島織布会社争議 4 近畿二府三県合同第一回交通安全週間 大島織布争議本部 全国労働組合同盟日本紡織労働組合北支部となる 泉州金屬労働組合結成 府道遠里小野線(天王寺・堺線)開通 5 全国大衆党無産診療所開設 総同盟大阪連合会堺出張所設立 6 ガス・電力料金値下げ実施 5 1 6 浅香鉄器製造所争議 6 堺自転車工業組合設立 7 泉州合同労働組合結成 7 毎日新聞浜寺海水浴場 五周年記念式挙行 8 公民病院夜間診療開始 9 市長以下の吏員俸給五・四・二・九割減俸 10 全国労働農大衆党と社会民衆党 府議選の選挙監視隊結成 11 府会議員選挙(政友・民政) 12 泉北郡在郷軍人連合分会「困難打開」ビラ配布 9 11 日本合金所争議 10 上水道第八回拡張工事着工(昭和7・3完成) 11 全国大衆党堺支部結成 12 堺商業学校再建工事完成 12 市会で「満州事変」に出先軍隊にたいする慰問電文案「可決」反対組合員ら三回ヶ丘土地整理組合および金岡耕地整理組合の土地測量に反対 この年、各小学校単位に婦人会を結成	1 日本農民組合結成 3 三月事件 4 重要産業統制法・工業組合法公布 第二次若槻内閣内閣成立(12月) 6 中村大財相内閣総辞職 7 万宝山事件 8 日本生産党結成 9 満州事変勃発 10 1 1 1 大買収 10 1 1 0 1 0 1 1 2 犬養毅内閣成立(昭和7・5) 11 金輸出再禁止
昭和7 一九三二	1 在郷軍人会堺市連合分会の軍人勲章奉戴五〇周年記念式挙行 2 大浜公会堂で凱旋新進隊司令官波大佐歓迎大講演会開催 3 西村栄一の横山助役殴打事件 4 阪和電鉄堺市駅開設 5 市道山之口筋初舗装完成 以後市内の舗装すすむ 6 線香職人スト 7 騎兵第四連隊金岡村の新兵舎に移転 8 大浜公会堂で官民合同の騎兵第四連隊引越式大歓迎会開催 9 満州視察団出発 10 大阪府の煤煙防止規則公布(10月施行) 11 国道一六号線漢まで開通 4 5 市内に天然痘発生 5 大浜飛行場で堺学童	1 上海事変勃発 2 井上準之助暗殺(血盟団事件) 3 満州国建国宣言 4 6 リットン調査団満州調査 5 5 1 五事件 6 齊藤実内閣成立(昭和9・7) 7 8 農村救済の議会請願運動
昭和9 一九三四	1 新日本国民同盟堺支部結成 市立旭幼稚園創立 2 堺高等小学校創立五〇周年記念式挙行 3 泉州協議会結成 4 皇太子誕生奉祝週間 祝賀行事挙行 5 大阪府国防協会堺支部結成 6 輻重兵第四大隊金岡兵舎に移転 7 堺中学 選抜野球大会に出場 一回戦で京都商業に四対〇で敗退 8 衛戍病院開院 9 市役所産業課内に工場相談室開設 10 堺市工業本館放火により全焼 11 浜寺町制施行二〇周年記念式挙行 12 市内にチーフス発生 13 市民病院全焼(7月市役所産業部に臨時診療所開設) 14 近畿防空演習 工業調査実施 大浜市方運動場完成(8月開場) 泉北広幅幅布組合設立 9 関西大風災で堺大被害(室戸台風) 臨時救済本部設置し救済活動開始 10 上水道第九回拡張工事着工(昭和13・10完成) 11 風水害遭難死者追悼祭挙行 12 11 太陽セメント工業所争議 13 商品陳列所開設 14 堺市金屬工業研究所開設 15 三宝出張所廃止 16 市事業部を戎之町東一丁に移転 この年、泉北七町村組合立伝染病院設立 上神谷村農山漁村経済更生運動のモデル村に指定	3 満州国帝政となる 外務省輸出入禁止制限撤廃条約 関税休戦協定脱退 石油業法公布 4 帝人事件発覚 6 満州国 民間資本導入歓迎を表明 7 岡田啓介内閣成立(昭和11・3) 10 陸軍省新聞班「国防の本義とその強化」発刊 11 本労働組合全国評議会結成 12 十一月事件(統制派・皇道派の対立激化) 12 政府、アメリカにワシントン条約廃案を通告 この年、冷害・干害・水害のため米作大凶作
昭和10 一九三五	1 市公会堂開館 風水害復興計画策定 2 初の三帝奉賛日行事挙行 鶴田村・北上村合併 福泉町制施行 2 5 昭和館争議 3 堺市出品協会結成 日本煉瓦会社争議 線香労働者争議 水族館焼失 4 大阪府立青年学校教員養成所創立 5 日本製鉄鉄道問題(昭和11・3誘致断念) 山崎善三郎市会議長就任(昭和12・1) 4 5 泉北郡晒工場労働者 下請職人賃上げスト 5 堺貿易協会結成 6 大阪府選挙粛正委員会結成 堺市時間厳守同盟会結成 泉北郡水害 堺連隊司令部大阪市内に移転 7 初の堺観音祭実施(南蛮行列) 堺市社会教育委員会 日の丸を仰ぐ運動 愛国精神徹底運動 市民生活改善運動など一四か条を河津市長に答申 8 堺市歌制定 8 泉北郡水害 三宝復興第二期工事完成 8 1 9 第一次選挙粛正運動展開 9 府会議員選挙(政友・民政) 堺市社会事業協会授産場開設 10 実業補習学校と青年訓練所を合併し青年学校と改称 防湖堤工事着工(昭和11年夏完成) 阪神防空演習実施 11 堺市台湾産産視察団出発 12 第二次選挙粛正運動展開(昭和11・2) 耳原町に市営簡易食堂開設 この年、若年労働力不足に深刻化 市立青年学校二校創立	2 美濃部事件 3 日本共産党中央委員会増設 4 全国に青年学校設置 5 選挙粛正委員会令公布 6 内閣審議会 内閣調査局設置 6 チャールズ・ヘンリー 何忠欽協定調印 7 1 8 コミンテルン第七回大会で人民戦線戦術採択 8 中国共産党「救国抗日」宣言発表 9 政府、国休明けを声明 永田事件 この年、ソニアル・ダンピング問題化
昭和11 一九三六	1 大阪府社会事業連盟経営の母子栄養食堂開設 2 6 総選挙の違反容疑で関係者大量逮捕 3 堺市観光協会の結成 4 府立第五級工業学校創立 堺市労働紹介所開設 市役所汚職事件発覚(検挙者五〇名) 市バス経営問題(昭和12・1中止) 大浜湯内にて観光展覧会開催 5 堺化学工業製炭火事事件発覚 田中慶治助役就任(昭和21・2) 6 堺港修築工事着工 府道天王寺・堺線 堺一風線のうち、遠里小野以南八キロメートル完成 西村栄一、市会協議会で市役所汚職事件の責任追求 7 南海電鉄に日本最初の冷房電車一輛登場 7 1 8	1 ロンドン海軍軍縮会議閉会 2 第一九回衆議院総選挙 2 二六事件 3 広田弘毅内閣成立(昭和12・2) 4 内務省、メーデー禁止通達 5 斎藤隆夫、衆議院で兩軍演説 6 イタリヤ、エチオピアを合併 7 軍部大臣現任武官制復活 7 コム・アカデーミー事件 8 五相会議で「国
昭和12 一九三七	1 市議会で紛糾裡に市庁舎移転可決 市議員選挙 2 浦本邦一市会議長就任(昭和14・2) 3 モルタ合資会社(現ミノルタカメラ)堺工場設立 2 1 4 いわゆる堺事件争議 3 安井小学校創立 福泉小学校創立 4 水族館再建開始 5 第四次選挙粛正運動 中百舌島総合運動場完成 6 堺市出征軍人家族後援会結成 土佐烈士七十年祭挙行 5 初の市民祭挙行 市立浅香山学園創立 日本航空輸送研究所のA B 四型飛行艇墜落 五名死亡 大和川大橋完成(国道一六号線開通) 6 大阪府在満留校後援会堺市支会結成 7 水族館のあしか開通 8 日中戦争開始にともない市民の戦争支持熱高揚 9 市会、北支駐屯軍司令官香月清司中将と将兵一同あての慰問電文可決 堺商工会議所「北支事変」支持声明 呂硯石市議ら国防義団結成 京阪神防空演習実施 8 市会で兵事関係追加予算可決 堺市出征軍人家族後援会結成 9 済生会堺病院開院 戦死者第一回合同祭挙行 10 国民精神総動員堺市協議会開催 精神運動開始 堺市社会事業協会母子寮開設 市民による最初の大規模な勤労奉仕 上海戦線戦艦視察市民大会開催(以後たびたび市民大会開催) 陸軍病院金岡分院開院	飛行団結式 堺学童義勇隊命名式挙行 宝珠院の烈士館完成 6 堺市連合青年団主催の凱旋兵祝賀会開催 三井財閥の失業救済資金による食券交付 橋本製炭所争議に煙突男出現 市財務課廃止 映画館解散者・楽士の争議 6 7 尾尾村役場紛擾 7 満州国少女使節 満州民族代表来堺 吉原製油所争議 近畿防空大演習 8 社会大衆党寄付米を失業者に配給 水族館開館三〇周年記念式挙行 9 堺署に特高係設置 自販車の生産統制実施 10 堺市金屬材料指導相談所開設 泉州一般労働組合結成 11 港湾委員会設置(昭和9・7港湾問題推進運動頓挫) 陸軍特別大演習、天皇来堺 堺市事務委員部設置 12 中小商工業者救済資金貸付け開始
昭和13 一九三八	1 大和川染工所 園光紡績など数社に産業界国会結成 2 泉北郡神石村を合併 市役所産業課内に就後商工相談所開設 堺市時局工業生産連合会結成 府立堺高女復興工完成 三宝地区への工場進出開始 堺市自動車商業組合結成 大阪府漁業組合連合会結成 2 3 線香労働者争議 3 浜寺町上水道工事完成 堺市労働組合結成 4 天津に堺貿易事務所開設 水族館開館三三周年記念式挙行 堺市防務委員会結成 市役所戸籍兵事課内に軍人遺家族相談所開設 市制施行五〇周年記念式典挙行 堺市町内会復興大会開催 堺市海上防護団結成 5 堺市北支産産視察団出発 6 神石村合併にともなう市議員増員選挙 6 市学事課、皇軍慰問パンフレット	7 社会大衆党結成 8 内田康哉外相「焦土外交」演説 9 商業組合法公布 日滿議定書調印 12 国民同盟結成 この年、革新陣営より国家社会主義への転向多し
昭和14 一九三九	1 厚生省設置 宇垣一成内閣流産 2 林銑十郎内閣成立(5月) 4 文部省、パンフレット「団体の本義」配布 第二次近衛文相内閣成立(昭和14・1) 7 日中戦争勃発 9 国民精神総動員運動開始 10 企画院設置 11 独防共協定にイタリヤ参加 大本営と大本営政府連絡会議設置 12 南京占領 人民戦線事件 この年、国家独占資本主義へ移行、軍需インフレ本格化	1 ヒトラー内閣成立 2 関東軍熱河作戦声明 3 ルースベルト米大統領就任(ニュー・ディール政策開始) 4 日本、国際連盟脱退 米穀統制法 外国為替管理法公布 4 日本製鉄株式会社法公布 滝川事件 5 塘沽停戦協定調印 6 佐野学錦山貞親転向声明 7 神兵隊事件 9 三井財閥「方向転換」発表 10 五相会議設置 ドイツ、国際連盟脱退 12 陸海軍省「軍民離間」声明 この年、後半より景気回復